

Life

Nagasaki

長岡京
ライフ

決戦の
舞台は

長岡京市

- 2-3 第35回全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」開幕
- 4-7 ガラシャ祭 参加者募集
- 8-9 運動をお宝に あらくと aruku&アプリ
- 10-12 “けんしん”を受けよう！ など
- 13 アーリントン・市民文化まつり募集

- 14-15 どこ行く？ 何する？ 夏休み！
- 16 参議院議員選挙のお知らせ
- 17 やめよう！ 放置自転車
- 18-19 下半期財政状況・法令遵守運用状況
- 20-29 情報インデックス

表紙
毎夏開催の若葉カップ。クラブチーム戦ならではの熱気が会場を包みます。
(写真：昨年の7月27~30日、西山公園体育館で)

第35回 若葉カップ



全国小学生バドミントン記念大会

熱戦開幕



7/20(土)～23(火) ≫ 西山公園体育館

小学生バドミントンの全国大会「若葉カップ」が、7月20日(土)から23日(火)に、西山公園体育館で開催されます。35回目を迎える今大会では、どんなドラマが生まれるのでしょうか。

㊤文化・スポーツ振興室 スポーツ振興係

☎955-9735 FAX955-9526

*初日は、一般観覧者の入場制限がかかる場合があります。大会の勝敗情報などについては、市ホームページでお知らせします。全国から予選を勝ち抜いた子どもたちと地元チームに、暖かい応援をお願いします。大会を支えるボランティアも募集しています。詳しくは、右のQRコードからご覧ください。



実はすごい！ 若葉カップの魅力

全国大会で唯一のクラブチーム対抗戦！

小学生が参加する3つの全国大会のうち、クラブチーム対抗で勝敗を決するのは若葉カップだけ。メンバーが力を合わせないと勝利はつかめません。チームメイトの応援を背に、いつも以上の力を発揮する選手たちの輝きは、若葉カップでしか見ることができない魅力のひとつです。

小学生バドミントン界の甲子園！

各都道府県ごとに、総計約450チームによる予選が行われており、勝ち抜いた男女合わせて96チーム、約1,000人が参加する全国大会。それぞれ地元の熱い思いを背負い、熱戦が展開されます。

オリンピック選手への登竜門！

リオオリンピック出場選手のうち、なんと9人中7人が若葉カップ出場経験があります。今大会出場者から、未来のオリンピックスターが誕生するかもしれません。

今記念大会では、ゲストに若葉カップの出場経験を持つ、「オグシオ」の小椋久美子さんを招き、エキシビションマッチが行われます。

2017年準優勝 2018年3位の強豪チーム 長岡京市バドミントンスポーツ少年団へインタビュー

男子チーム

木根 知哉 主将

団体戦は、プレッシャーもありますが、みんなの応援が心強く、力になります。元気がよく、自信を持ってプレーできているのが、今のチームの強み。優勝目指して頑張るので、応援よろしくお願いします！



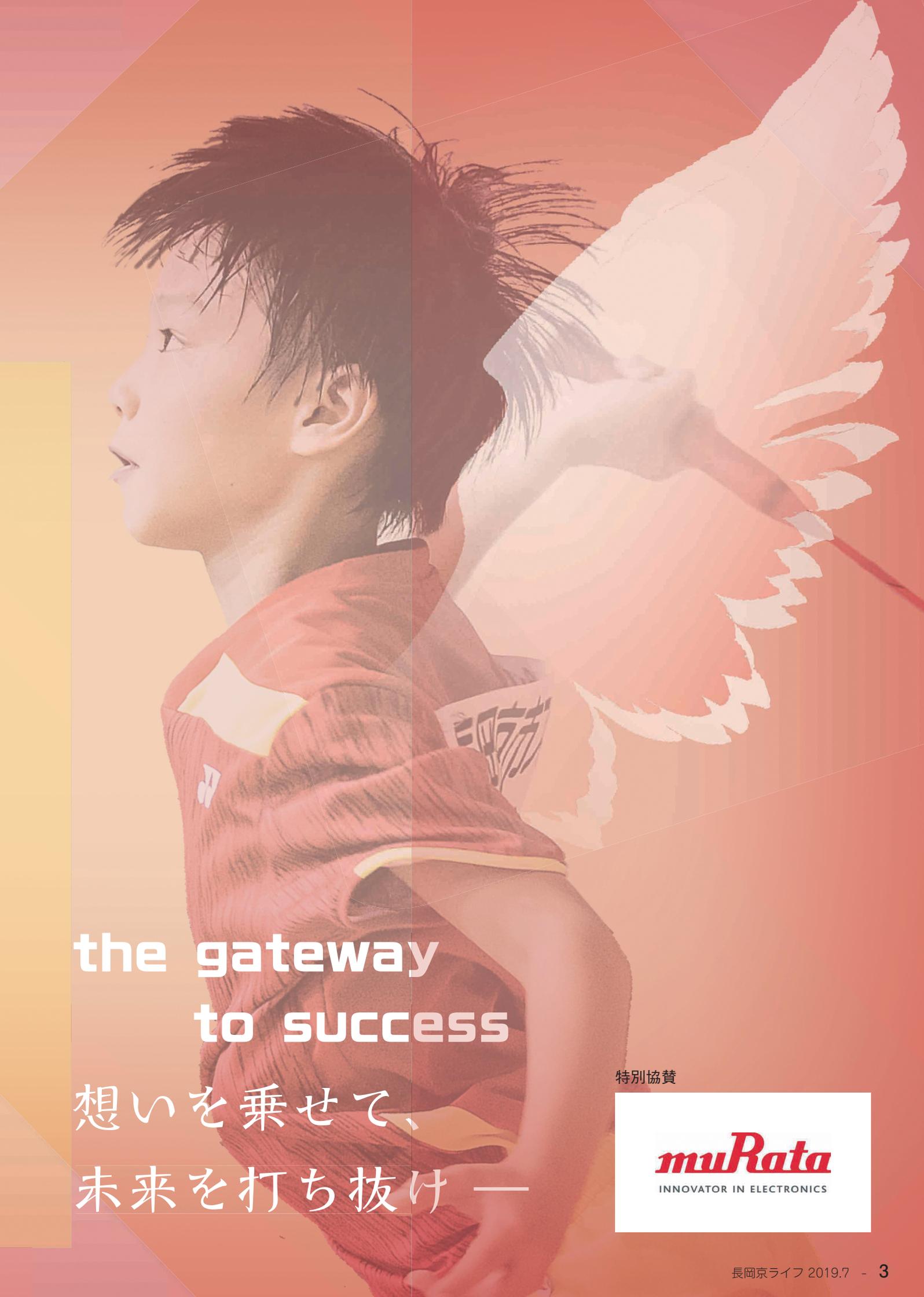
女子チーム

岩井 夏穂 主将

今年は、例年にましてチームワークがよく、優勝が狙えそうなチームになっていると思います。



みんなが頑張ってるので、ぜひ見に来てほしいです！



the gateway
to success

想いを乗せて、
未来を打ち抜け —

特別協賛

